



校長 佐々木 希久子

進級・進学準備期間です

いよいよ3月です。この時期は、進級や進学準備の時期です。次年度に向けてさまざまやりたいことを思い描く時期である一方、不安などを感じる人もいます。不安を払拭するのはなかなか難しいことだと思いますが、自分がやってきたことや自分が身に付けてきたことを振り返って、今の等身大の自分の力を知ることが肝要であり、自信につながると思います。

この1年間、あるいは、これまでの人生の中でどのような力を身に付けてきたか。各教科の授業の中で具体的に振り返る時間があると思います。そうした時間を有効活用して、自分自身の力を振り返ってみましょう。

自分を知っているということは素敵な長所ですし、社会人に必要なスキルです。メタ認知能力といいます。メタ認知能力を高めるためには勉強することです。勉強すると、気付かなかったものにも気付くようになります。勉強しないと、逆に、何も気付かず、知らずに過ごしていくこととなります。それより、振り返って、自分を知らって、自信をもってもらいたいです。

授業の中で身に付けられる力

実際に学校の授業を通して、身に付けられる力は、その教科固有の内容以外にも次のような力があると教育心理学の中では言われています。こちらも合わせて振り返ってみましょう。

- ☆ 国語辞典や事柄の事典の使い方 ☆ 教科書の使い方 ☆ 情報（資料集や地図帳）の使い方 ☆
- ☆ 発言・発表の技能 ☆ 聞き方の技能 ☆ お尋ねの技能（マナー） ☆ ハテナを発見する技能 ☆
- ☆ 観察の技能（ながめるーみるーよくみるーみ続けるーみ抜く） ☆ 実験の技能 ☆ 見学の技能 ☆
- ☆ 書く技能（メモを含める） ☆ 本を読む技能（キーワードが分かる読み方） ☆ PC を使える技能 ☆
- ☆ 考える技能（結論を出すためには考えて事実と事実を関係付ける） ☆ 情報を集める技能 ☆
- ☆ 話し合いの技能（話題をしっかりとらせる 話題についてのズレを埋めるのが話し合い） ☆

防災講話

3月3日の全校朝礼で、高輪消防署港南出張所の方に来校していただき、お話を伺いました。

令和6年の東京消防庁救急隊の出場件数は、約93万5000件あったそうです。3年連続で過去最多件数を更新しています。熱中症などが多いそうですが、ますます救急隊の役割が重要になっています。

ちなみに、119番に通報してから現場に到着するまで平均して9分40秒近くかかるそうです。統計によると、心肺停止から1分以内に救命処置が行われれば95%が救命されます。3分以内では75%、脳障害も避けられる可能性がでてくるそうです。ところが、5分経過すると救命率は25%になってしまいます。もし、身近なところで万一のことがあったとき、このことを意識していただいて、中学生の皆さんも機会があれば救命処置を学んでいただきたいと思います。

また、通報件数が多すぎると、救急隊現場に到着するのに、さらに時間がかかってしまいます。助けられる命を助けるために、消防庁には「#7119」があります。「#7119」は東京消防庁救急相談センターのことです。急な病気やけがをして、病院に行くか、救急車を呼ぶか迷ったときの相談窓口です。医師や看護師、救急隊経験者等が相談に答えます。24時間、年中無休です。迷ったときはこちら「#7119」にご連絡ください。